

- 1 単元名 どうぶつのひみつをみんなでさぐろう
教材文 「ビーバーの大工事」

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「動物の秘密を本から見つけてクイズを作る。」ことを位置付けた。秘密クイズブックを作るために、教科書から体の特徴・できること・生きるための知恵について内容を読み取り、ビーバーの秘密を調べていく。そして、自分が「すごい。」と思った言葉や文が答えとなるクイズを作らせていく。そのためには、文章を正しく読み取り「すごい。」と思うところを探して読むことが必要となる。本単元でねらう「時間的な順序や事柄の順序を考えながら内容の大体を読むこと」(C読むことイ)、自分の考えをまとめるために、「文章中の大事な言葉や文を書き抜くこと」(C読むことエ)の力を養うのにふさわしい言語活動であると考えられる。

3 単元について

(1) 児童観 (在籍 22人)

【教師から見た実態】	A 十分満足できる	B おおむね満足できる
・時間の順序や様子とその理由付けの言葉に着目して文章を読み取る。	A 14人	B 6人
・読み取ったことをもとに、問いと答えの文を書くことができる。	A 13人	B 5人

児童は、1学期に説明文の「たんぼぼ」を学習した。実際に、たんぼぼを観察しながら読み進めることで、興味をもって学習を行うことができた。ここでは、時間を表す言葉と順序、たんぼぼの様子に着目して、花のしくみや仲間の増やし方を読み、「たんぼぼのひみつクイズ」を作った。「答え」にしたい大事な言葉や文を書き抜いたり、「問い」と「答え」というクイズの構成を学ぶことができた。多くの児童は、大事な言葉や文を書き抜いたり、「問い」と「答え」が対応したクイズを作ることができたが、大事な言葉や文を「答え」として、それに合う「問い」が作れない児童や、「これは何でしょう。」のような単語で答える簡単なクイズ作りにとどまった児童もいた。時間の順序に沿って、たんぼぼの様子とその理由を読み取り、大事な言葉や文を書き抜く力に課題が見られた。

(2) 教材観

教材文「ビーバーの大工事」では、体の特徴や生態、生きるための知恵について、大事な言葉や文に着目して読み取ることをねらいとして学習を進めていく。

本教材は、ビーバーの家族が安全に暮らすために大変な苦労をしながら協力してダムを作り、そのダムの中に巣作りをする様子が分かりやすく書かれていて、児童は驚きや感動をもって読み進めることができる。そして、他の動物についても調べてみたいという思いに駆られる教材である。また、文章は、たとえや具体的な数字、擬態語や擬音語が使われていて、構成も仕事の順をおって四つのまとまりに組み立てられているため、まとまりごとに順序に気を付けて内容を読み取っていくのに適している。

(3) 指導観

本単元では、「どうぶつのひみつクイズブック」を作るために、まとまりごとにクイズを作る活動を取り入れて、読みを深められるようにしていきたい。

第1次では、教師が作ったモデルを提示して、動物の生態や体の特徴について興味や関心をもたせる。そして、動物の秘密を調べてクイズを作り本にまとめるという単元のゴールを示す。自分が調べたい動物の秘密クイズを作るためには、まず「ビーバーの大工事」を読み、ビーバーの秘密を見付けることが必要であることを実感させる。

第2次では、事柄の順序に気を付けながら「体の特徴」「できること」「生きるための知恵」に着目して文章を読み、ビーバーのすごいと思うところについてクイズを作ることをねらいとしている。文章の構成が四つのまとまりに組み立てられていることから、小見出しを付けながら読み進めていく。初めは全体でクイズ作りをし、次に各自がクイズを作る。全体で確認しながら、クイズの作り方を身に付けることを通して、大事な言葉や文を手がかりに正しく読み取ることができるようにしていく。また、並行読書を取り入れて、動物の体の特徴や生態、知恵がどのように書いてあるか、ビーバーと比較しながら読み進めていく。

第3次では、「ビーバーの大工事」で学んだ「書かれている事柄の順序に気をつけながら、大事な言葉や文を書き抜く」ことを活用して「すごい。」と思ったことに着目させてクイズ作りをする。クイズ作りを通して、文章中から大事な言葉や文を選び書き抜く力を育てていく。また、クイズを交流することで、新たな知識を得たり、答えを求めるために本を読んだりする学習を進め、読書意欲も喚起させていく。

4 単元 の 目 標

- 動物の生態や知恵に関心を持ち、進んで本を読んだりクイズを作ったりしようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- 大事な言葉を探しながら、説明の順序に気を付けてまとまりごとに読み取ることができる。
(読むこと)
- 主語と述語の関係に注意して読んだり書いたりすることができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元 の 評 価 規 準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・動物の生態や知恵に興味を持ち、進んで読んで本を読もうとしている。	・クイズを作るために、大事な言葉や説明の順序に気を付けて、正しく読み取っている。	・主語と述語の関係に注意をして、内容を読んだり文を書いたりしている。

6 単元 の 指 導 計 画 (13 時間 扱 い)

第1次 「どうぶつのひみつクイズブック」を作ることを知り、学習の見通しをもつ。
・・・3時間

第2次 ○は本時

時	主な学習活動	主な評価
	教材文を読み取り、まとまりごとにクイズを作る。	
4	・木をかじって倒す様子を読み取り、クイズを作る。	・大事な言葉を捉えて、ビーバーが木を切って運ぶ様子を読み取っている。 (読む能力)
5	・木を運ぶ様子を読み取り、クイズを作る。	
6	・好きな動物を選んで並行読書をする。	・興味をもった動物の本を選んで読もうとしている。 (関心・意欲・態度)
7	・ダム作りやダムの様子を読み取り、クイズを作る。	
8		・ビーバーがダムを作る様子を順序よく読み取っている。 (読む能力)
⑨	・巣作りの様子や巣の仕組みを読み取り、クイズを作る。	・安全な巣を作って暮らすビーバーの知恵を読み取っている。 (読む能力)

第3次 「どうぶつのひみつクイズブック」を作り、友達と交流する。・・・4時間

7 本時 の 学 習

(1) 目標 ビーバーの巣作りの知恵について、大事な言葉や文に気を付けて正しく読み取ることができる。

(2) 準備・資料 挿絵 ワークシート 文章を拡大したもの(掲示用)

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
1 前時の学習を振り返る。 「問い」と「答え」の作り方を確認する。	・前時までにできたクイズを発表させ、クイズの構成を確かめる。 ・クイズを作るために、巣作りや巣の仕組みの「すごい。」を見つけることを確認してから、各自音読をする。
2 本時の学習課題を確認する。 すを作るビーバーの「すごい。」をつかって、クイズを作ろう。 ・P36 6行目～P37 11行目を音読する。	
3 巣作りや巣の仕組みから、ビーバーの知恵を読み取る。	・「できること」「生きるための知恵」に着
(1) 「すごい。」と思うところを見つけ	

<p>て、教科書にサイドラインを引く。</p>	<p>目して文章を読んでいくことを確認する。</p>
<p>(2) 「すごい。」と思ったところについてクイズを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> クイズの構成が正しくできているかを確認しながら書かせる。 どんなところがすごいと思ったのか、必ず理由も書くことを確認する。また、クイズには必ず主語と述語が入るように文型を確認する。
<p>〈クイズの作り方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「すごい。」と思うところが答えになっているか。 「問い」の文には、「しつもんことば」（いつ、どこ、何、どんな、なぜ、どのようになど）が書かれているか。 「問い」と「答え」が合っているか。 主語と述語が入っているか。 	<p>レベル1 単語で答える問題 レベル2 文で答える問題 レベル3 文の順序に気を付けて答える問題</p>
<p>〈クイズの例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ビーバーは「どこ」にすを作るのでしょうか。 すは、「どのようにして」作るのでしょうか。 すの入り口は、「なぜ」水の中にあるのでしょうか。 ビーバーがダムを作るのは、「なぜ」でしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> レベル1のクイズや支援が必要な児童には、サイドラインを引いた箇所を目を向けさせ、挿絵を参考にしながら、巢の場所や構造、入り口の場所が答えとなる「どこ」や「何」を使った言葉で書くことができるように助言をする。 レベル2のクイズが作れる児童には、「どのように」「なぜ」を意識して問いの文が作れるように声をかける。
<p>(3) ペアでクイズを読み合い、正しく書いているか教えあう。 〈読み合いのポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「問い」と「答え」が合っているか。 主語と述語が入っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 読みあうポイントを提示して、正しく書いているかを確認し合うように指示をする。 書き終わった児童から、クイズを交換して読み合い、友達のアドバイスを受けて推敲するように確認する。
<p>(4) 全体交流をして、巣作りをするビーバーの知恵を確かめ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 巣の入り口が水の中にあるわけを考える。 ビーバーがダムを作るわけを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 作ったクイズを発表するときは、ビーバーのどのようなところがすごいと思ったのか、理由をつけて発表させるようにする。 発表の中から、巣の入り口が水の中にあるわけやダムを作るわけについて取り上げ、安全な巣を作るためのビーバーの知恵であることを全体で確認する。 内容を正しく読み取ることができるようにする。「その、それで、まるで～のよう」の指示内容や比喩表現にも触れるようにする。
<p>4 振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> できるようになったこと わかったこと むずかしかったこと 友達のよいところ 	<p>(評) 安全な巣を作って暮らすビーバーの知恵を読み取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてに沿って、巣作りや巣の仕組みについてクイズを書くことができたかを振り返る。
<p>5 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次時は「どうぶつのひみつクイズ」を作るために、本を読んで「すごい。」を見つけてることを伝え、次時への興味を高めさせるようにする。

「どうぶつのひみつクイズブック」を作ろう。名前（ ）

13	学しゆうすること	学しゆうすること	◎○△
12	文しゆうを読んで、すごいと思つたことを書く。	「すごい」と思つたところを見つけることができる。	
11	クイズ作りのれんしゆうをする。	「もんだい」と「すごいが答え」になるクイズの作り方が分かる。しゅ語としゅつ語に気をつけて作る。	
10	文しゆうをまとまりごとに分けて、見出しをきめる。	書かれていることを、四つのまとまりに分けることができる。	
9	へ木を切りたおすビーバーのようすを読んで、クイズを作る。	文しゆうの中から、ビーバーの「すごい」を見つけて、クイズやせつ明の文しゆうを書くことができる。	
8	へ木を川へはこぶビーバーのようすを読んで、クイズを作る。	文しゆうの中から、ビーバーの「すごい」を見つけて、クイズやせつ明の文しゆうを書くことができる。	
7	へすを作るビーバーのようすを読んで、クイズを作る。	文しゆうの中から、ビーバーの「すごい」を見つけて、クイズやせつ明の文しゆうを書くことができる。	
6	しらべるどうぶつの本を読み、分かつたことをメモカードに書く。	文しゆうの中から、自分でえらんだどうぶつの「すごい」を見つけることができる。	
5	メモカードをもとに、クイズを作る。	「すごい」をつかつて、クイズとせつ明する文しゆうを書くことができる。	
4	自分で作つた「どうぶつのひみつクイズ」を出し合う。	文しゆうを読んで、答えを見つけることができる。	
3	学しゆうのふりかえりをする。	自分ができるようになったことや友だちのよいところを見つけることができる。	
2			
1			

ビーバーの大工事

㊦ すを作るビーバーの「すごい」をつかってクイズを作ろう。

クイズを作るときは

- ・しつもんことばがある。
- ・「すごい。」ところがある。
- ・問いと答えがあっている。
- ・主語と述語がある。

へすを作るビーバーへ

教科書の文
(拡大したもの)

挿絵

「すごい。」

・すの入り口が、水の中にある。
・ダムを作る。

← 生きるためのちえ

もんだい（ ） もん目 答えとせつ明

名前

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□このクイズをえらんだわけ

--	--	--

もんだい（ ）もん目

名前

<input type="checkbox"/> 本の名前				
<input type="checkbox"/> ページ				

どろろぶつのはみつけクイズブック

作

--

のひみつを見つけよう。

二年組 名前 ()

☆えらんだわけ

